国土交通省関東運輸局茨城運輸支局

アンケート調査に御協力ください！

茨城県内トラック事業者に対する

事業改善に向けた 物流DX に関する実態・意向アンケート

物流ＤＸとは、

「機械化・デジタル化を通じて物流のこれまでのあり方を変革すること。」

トラックドライバー不足を補い、更に事業を発展させるため、茨城県内のトラック事業において、どれだけ機械化やデジタル化が進んでいるのか、また進んでいないとすれば理由は何か。

茨城運輸支局ではそれらを把握し、トラック事業に対する支援に役立てるための調査を行います。是非ご協力いただくようお願いします。

アンケート概要

質問概要	**共通の設問９問**（事業者種別、車両数、物流DXの対応状況） **物流DX対応済み事業者向け１５問**（導入動機、導入概要、導入効果の認識等） **物流DX未対応事業者向け９問**（今後の対応意向、導入の阻害要因と事情等）
調査対象	茨城県内に営業所を置く一般貨物自動車運送事業者 （倉庫業、貨物利用運送事業兼業事業者も含む）
調査方法	**Microsoft formsを活用したオンライン調査**（こちらからアクセスしてください👉） ※同封された調査票により、FAXでの回答（029-248-4773）も可能です。
回答期間	**令和8年11月16日(月) ～ 令和9年1月29日（金）**（※必着）
お問合せ	茨城運輸支局輸送担当 **(029-247-5348)**【8:30~11:45,13:00~17:00】 ※音声ガイダンスが流れますので、「１」を選択してください。

物流ＤＸの例と効果

機械化



運転の自動化



荷役の自動化



倉庫の自動化

デジタル化



点呼、運航管理のデジタル化



求車情報把握、原価計算のデジタル化

人手不足解消、業務の品質向上、原価把握による交渉力向上、経営への集中といった効果により、**「儲かるトラック事業」**を実現。